

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

2009 応用情報技術者 午後問題の重点対策 第1版 第2刷

No.	訂正箇所	誤	正
1	P.89 設問 1(2) 上から 2 行目	～150M ビット/秒の LAN が必要となります。	～120M ビット/秒の LAN が必要となります。
2	P.119 例題 解説文内 6 箇所	診療テーブル	診察テーブル
3	P.133 例 SQL 2 行目 行末の, をトル	AS SELECT 氏名, 出身校 FROM 学生テーブル,	AS SELECT 氏名, 出身校 FROM 学生テーブル
4	P.221 解説	解説 公開かぎ暗号方式でデータの暗号化に使うのは、受信者(Nさん)の公開かぎです。そして、Mさんだけが知っている秘密かぎで復号します(正解(イ))。公開かぎ暗号方式では、異なった一組のかぎを使い、一方だけを公開するというのがポイントです。	解説 公開かぎ暗号方式でデータの暗号化に使うのは、受信者(Nさん)の公開かぎです。そして、Nさんだけが知っている秘密かぎで復号します(正解(イ))。公開かぎ暗号方式では、異なった一組のかぎを使い、一方だけを公開するというのがポイントです。
5	P.523 〔設問 1〕 (2)の最終行へ(3)を追加		正 (3) 「対応時間の短縮を図れたと考えられる確認事項」について問われている。〔トラブルの発生〕をチェックすると、(4)の「開発担当者からは“エラーの発生したプログラムは前週にリリースしたものであることから、プログラムに誤りがある可能性が高い。”という回答があった」という記述から、エラーの発生したジョブに関して、最近何らかのプログラムがリリースされたかを運用担当者が確認できていれば、対応時間の短縮を図れたと考えることができる。 そこで、「リリース」というキーワードから、〔プログラムのリリース管理〕をチェックする。最初の段落にある「変更内容は、システム管理部門がリリース台帳で履歴を管理している」という記述から、これをチェックしていれば、エラーの発生したジョブに関して最近何らかのプログラムがリリースされたかを運用担当者が確認できた。したがって、「リリース台帳で、エラーが発生したジョブで最近何らかのプログラムがリリースされたかを確認する」という解答を導くことができる。

6	P.526 〔設問 1〕 (2)の最終行へ(3) を追加	正					
		(3) リリース台帳で、エラーが発生したジョブで最近何らかのプログラムがリリースされたかを確認する。					
7	P.536 〔設問 3〕 (2) 上から 1 行目	誤		正			
		1,400 万円		1,000 万円			
8	P.539 解説 下から 4 行目	400－300＝100 万円		400－300＝100 百 万円			
9	P.540 解答 下から 4 行目	営業利益：100 万円		営業利益：100 百 万円			
10	P.552 (1)の前へ表を追加	正					
		表 E 社製品の生産概要					
		製品名	最短の顧客 要求納期	製造に 必要な日数	出荷期限	昨年度の 1 営業日 平均受注数	昨年度の 1 営業日 最大受注数
		製品 X	2 日	6 日	180 日	50 個	60 個
		製品 Y	7 日	4 日	30 日	30 個	75 個
		製品 Z	7 日	5 日	180 日	300 個	315 個
注 出荷期限：製造してから出荷までに許される最長日数							
11	P.122 上から 3 行目	元のレコードは、{商品コード，単価，単位，数量， 単価} の部分が，		元のレコードは、{商品コード，単位，数量，単価} の部分が，			
12	P.259 下から 5 行目	アクセス要求に関する(イ)，(オ)		アクセス要求に関する(イ)，(エ)			